

# 富山県感染症発生動向速報

(2025年第52週分・12月22日～12月28日)

## ■今週の主な動向

※2026年第1週分は**1月8日(木)**発行予定です。

### ○インフルエンザの報告数は、2週連続で減少しました。

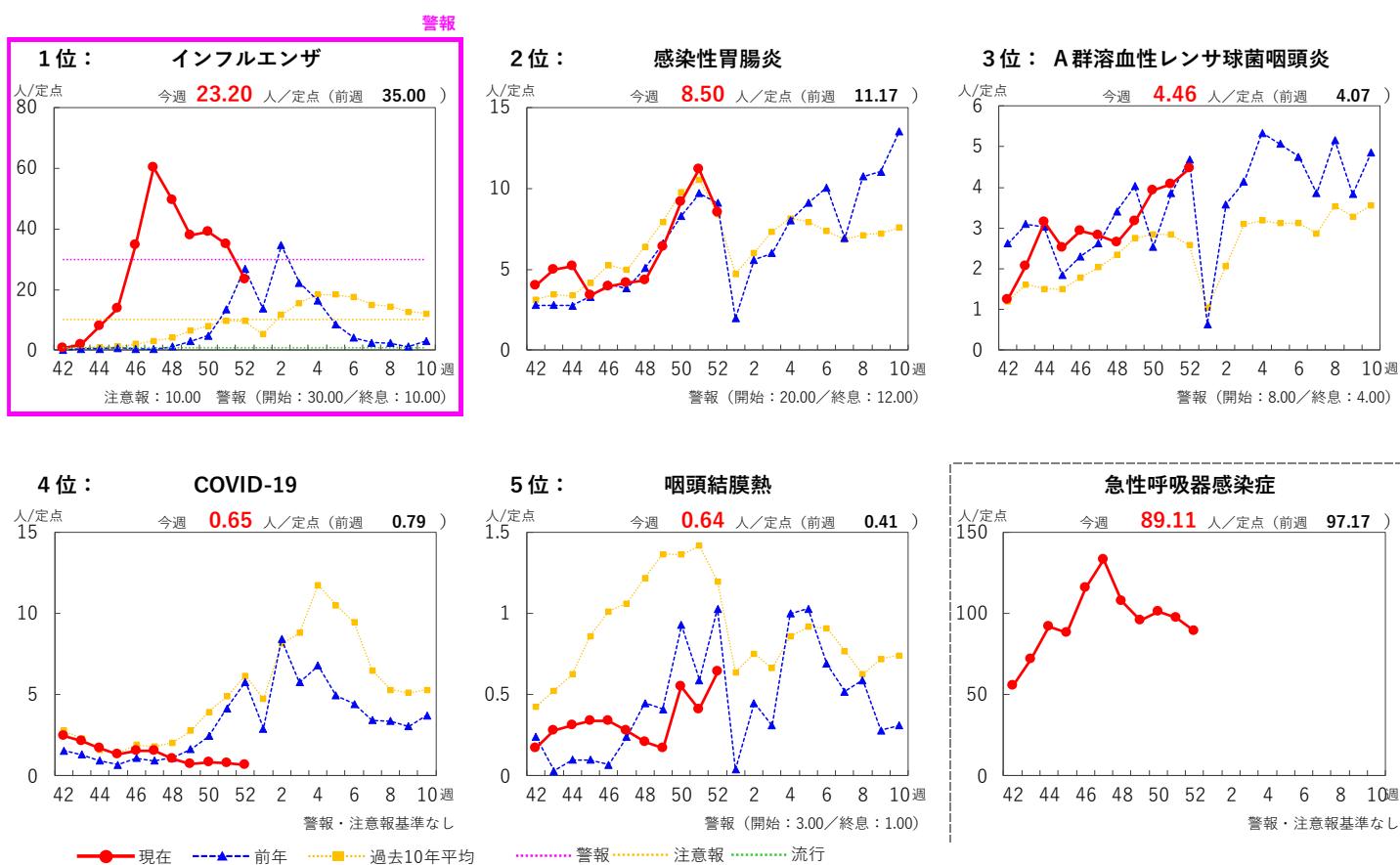
県内の患者報告数は今週 23.20 人/定点となり、先週 (35.00) から減少しました。しかし、インフルエンザの流行は継続していることから、引き続き手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけましょう。(インフルエンザの疫学所見、第51週インフォメーション参照)

### ○全数報告の梅毒の患者報告が4件ありました(2025年累積56件)。

現在の方法による調査開始以降、過去最多の報告数です。不特定多数との性交渉を避けること、適切にコンドームを使用すること、梅毒を含む性感染症が疑われる場合は早期に検査を受けることが重要です。(第49週インフォメーション参照)

## ■定点報告の感染症

### 今週の富山県内上位5疾患+急性呼吸器感染症(第52週・12/22～12/28)

厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

## ■全数報告の感染症

二類感染症 結核 3件 (①②共に80歳代、男性 ③90歳以上、女性)

四類感染症 レジオネラ症 2件 (①②共に80歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 急性弛緩性麻痺 1件 (10歳代、男性)

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 (50歳代、男性)

梅毒 4件 (①20歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期 ②20歳代、女性、早期顕症梅毒Ⅱ期  
③40歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期 ④50歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

百日咳 1件 (70歳代、女性)



富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）

TEL: 0766-56-5431 (直通) HP: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>



## 冬季は特に注意！ 感染性胃腸炎

### 《インフォメーション》

#### ● 感染性胃腸炎

県内の小児科定点医療機関からの感染性胃腸炎の報告数は、2025年第49週以降増加傾向となり、第51週に11.17人/定点の報告がありました(図)。今週(第52週)、8.50人/定点に減少したものの、例年冬季に報告数が多いいため、引き続き感染拡大に注意が必要です。

感染性胃腸炎の原因はウイルス(ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス等)によるものが多く、特にノロウイルスは冬季に流行します。ノロウイルスは、小児では主に汚染された糞便や吐物から人の手などを介した接触感染や、比較的狭い空間等での飛沫・塵埃感染によって広がります。ウイルスに感染後1～2日で、吐き気・おう吐・下痢・腹痛等の症状を引き起こします。ノロウイルスに対するワクチンはありません。また、抗ウイルス薬は利用できないため、治療は対症療法が中心となります。ノロウイルスは感染力が強く、アルコール消毒が効かないため、汚染された糞便や吐物、患者が使用したものなどは塩素系消毒剤等を用いて消毒する必要があります([厚生労働省、ノロウイルスに関するQ&A](#))。また、症状の消失後も数週間ほど糞便からウイルスが排出されることから、症状消失後も引き続き、手洗いなどの感染予防を徹底しましょう。

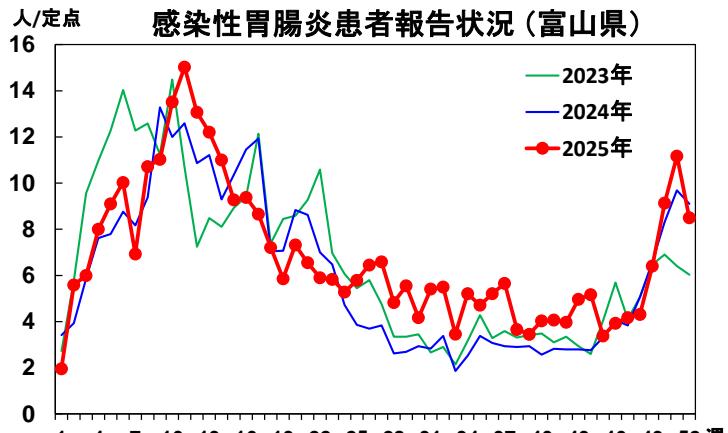
ノロウイルスによる食中毒の多くは、調理従事者の手指を介して食品を汚染したことが原因となっています。調理従事者は手洗いを徹底するとともに、食品に直接触れる際には「使い捨て手袋」を着用しましょう。

次のことに注意してノロウイルスによる感染を予防しましょう。

- 食事の前やトイレの後などには、手を洗う。
- 床等に飛び散った糞便や吐物を処理する際は、マスク・手袋・エプロンを着用したうえで、ペーパータオル等で拭き取った後に、塩素系消毒剤(0.02%次亜塩素酸ナトリウム)を用いる。
  - ◇ 塩素系消毒剤(0.02%)の作り方
 

ペットボトル2Lの容器に市販の塩素系漂白剤(原液濃度約5%)をペットボトルのキャップ2杯分を入れ、水を加えて全体を2Lにする。

(保管する場合は誤飲しないよう消毒液と明記し、直射日光を避けて冷暗所で保管しましょう)
- 加熱が必要な食品は、しっかり加熱(中心部が85～90°Cで90秒以上)して食べる。
- 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしない。



## ○感染症発生動向調査報告状況 (2025年第52週 2025年12月22日～2025年12月28日)

分類	疾患	今週報告分 (第52週)						累積報告数 (2025年第1週 (2024年12月30日) ~)						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症 結核 (再掲) 結核：無症状病原体保有者を除く					3	3	6	2	19	13	51	91	
	三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症					2	2	5	1	12	7	32	57	
	四類感染症 E型肝炎 A型肝炎 オウム病 重症熱性血小板減少症候群(SFTS) デング熱 レジオネラ症							2	1	7	3	4	17	
										5		2	7	
								1	1			1	3	
										1			1	
										1			1	
						2	2	1	1	7	3	20	32	
	五類感染症 アメーバ赤痢 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 急性弛緩性麻痺 急性脳炎 クロイツフェルト・ヤコブ病 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む) ジアルジア症 侵襲性インフルエンザ菌感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 水痘(入院例) 梅毒 百日咳 風しん									1		2	3	
										4		5	9	
						1	1					1	1	
										1	1	1	3	
						1	1					1	1	
								1		4		11	16	
										1		1	2	
										1		1	1	
										1		1	1	
								2		1	3	4	10	
								5		8	4	24	41	
								1		1			2	
								2		6	2	10	4	
		1		1		2	4	6	2	10	4	34	56	
						1	1	29	143	148	45	282	647	
										1		1	1	
定点把握 (上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数)	急性呼吸器感染症(ARI) 定点(40定点)	急性呼吸器感染症(※1)	423	359	1,100	429	1,788	4,099	12,582	11,589	42,337	11,151	53,878	131,537
		60,43	71,80	91,67	61,29	119,20	89,11							
		160	102	227	165	413	1,067	2,503	2,132	5,342	2,577	8,374	20,928	
		22,86	20,40	18,92	23,57	27,53	23,20							
	小児科定点(28定点)	COVID-19	8	5	5	5	7	30	1,740	720	1,941	1,543	1,842	7,786
		1,14	1,00	0,42	0,71	0,47	0,65							
		1	1	6			8	77	77	389	61	412	1,016	
		0,25	0,33	0,86			0,29							
	眼科定点(7定点)	RSウイルス感染症	2		9		7	18	88	47	355	7	132	629
		0,50		1,29			0,70	0,64						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	7	50	18	47	125	190	310	1,961	271	2,517	5,249
		0,75	2,33	7,14	4,50	4,70	4,46							
		感染性胃腸炎	21	30	28	17	142	238	1,397	884	1,702	645	5,599	10,227
		5,25	10,00	4,00	4,25	14,20	8,50							
		水痘	1	1		8	10	11	100	100	26	344	581	
		0,33	0,14			0,80	0,36							
		手足口病						4	8	60	17	70	159	
		伝染性紅斑		2		4	6	153	334	798	165	1,262	2,712	
基幹定点(5定点)	突発性発しん		0,29		0,40	0,21								
			0,29		2	4	15	35	146	38	169	403		
			0,29		0,20	0,14								
	マイコプラズマ肺炎	3				3	36	56	290	62	226	670		
		0,75				0,11								
						0,10	0,04							
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)					1	1	4	12	9	10	34	69	
	入院サーベイランス(5定点)	インフルエンザによる入院患者(※2)	6	2		2	5	15	31	16	31	25	63	166
		COVID-19による入院患者	1		3	2	6	135	113	108	157	340	853	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週(4/～)より開始しました。(参考: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>)

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週(9/1～)の集計です。

## インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

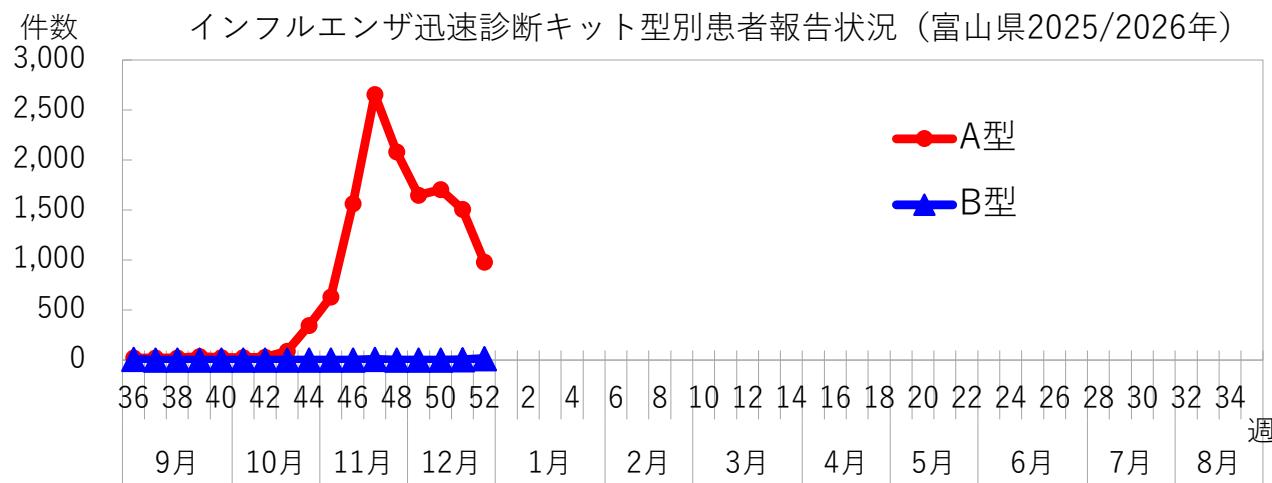
現在、下の表によると、A型が91.7%となっています。

**第52週（12/22～12/28）：富山県 23.20人/定点** (単位：件)

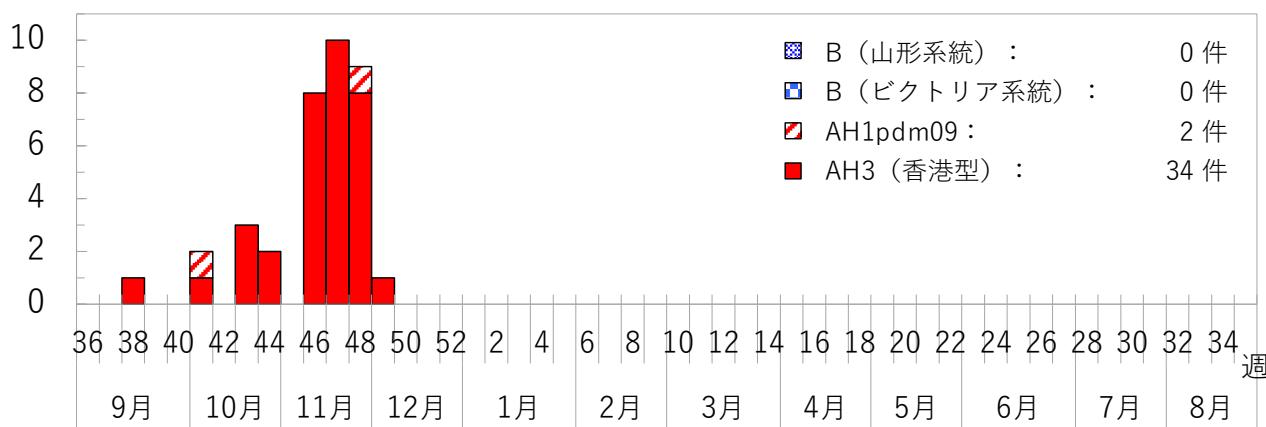
厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他※2	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	152	1	7	160
中部	5 / 5	94	0	8	102
高岡	12 / 12	200	0	27	227
砺波	7 / 7	160	0	5	165
富山市	15 / 15	372	15	26	413
富山県	46 / 46※1	978	16	73	1,067
富山県累計（2025年36週～）	13,389	48	1,150	14,587	

※1 46の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が46か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



件数 (参考) インフルエンザウイルス検出状況（富山県2025/2026年）



富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）

TEL: 0766-56-5431 (直通) HP: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>

TEL: 0766-56-8143 (ウイルス部)

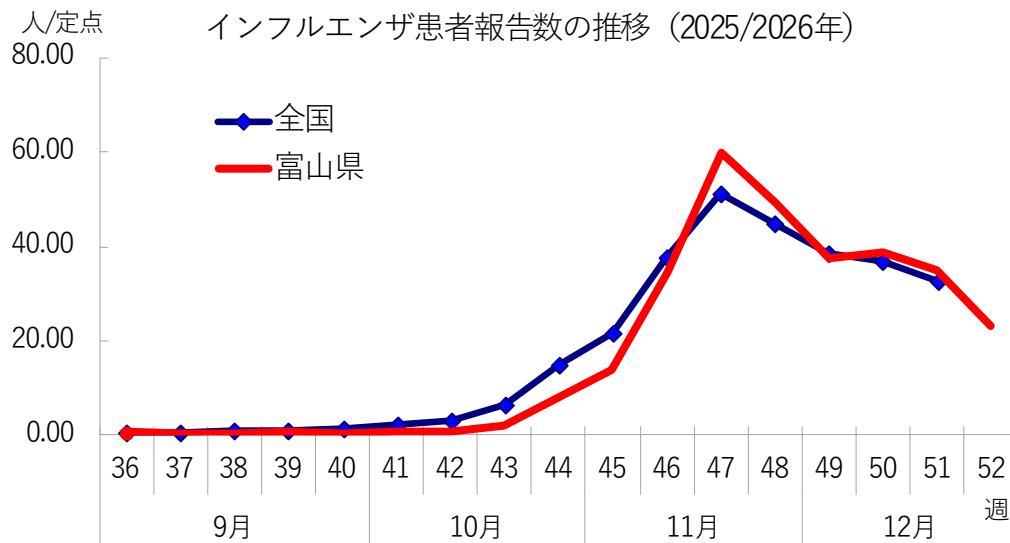


## インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

### ● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第52週（12/22～12/28）

**富山県 23.20人/定点** [新川(22.86)、中部(20.40)、高岡(18.92)、砺波(23.57)、富山市(27.53)]

今週の県内の患者報告数  
は、23.20人/定点となり、  
先週(35.00)より減少しま  
した。

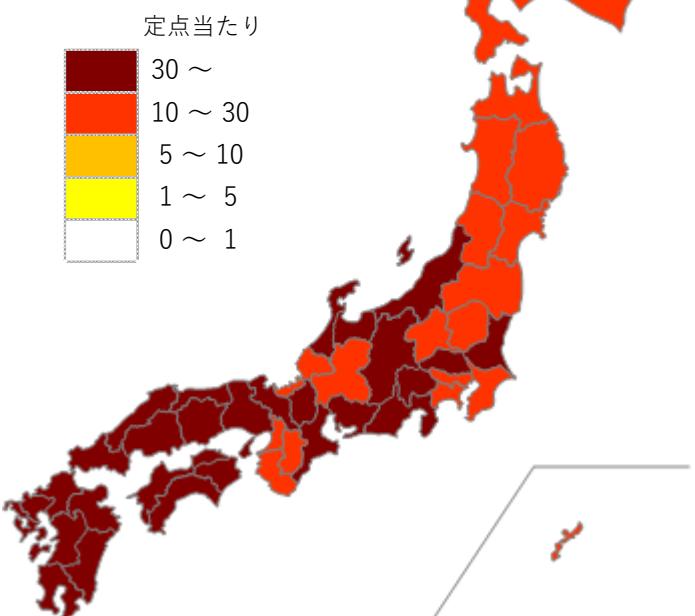


### ● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第51週（12/15～12/21）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり32.73人となり、前週の36.98人より減少しました。4県で前週より増加しています。43都道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ 第51週（12/15-12/21）

全国：32.73人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	18.83 ↓	滋賀県	30.95 ↓
青森県	20.37 ↓	京都府	39.25 ↓
岩手県	15.60 ↓	大阪府	21.90 ↓
宮城県	21.35 ↓	兵庫県	33.85 ↓
秋田県	11.32 ↓	奈良県	28.48 ↓
山形県	25.56 ↓	和歌山県	21.07 ↓
福島県	16.31 ↓	鳥取県	37.48 ↓
茨城県	34.40 ↓	島根県	52.95 ↓
栃木県	24.13 ↓	岡山県	52.36 ↓
群馬県	24.18 ↓	広島県	34.06 ↓
埼玉県	34.30 ↓	山口県	48.32 ↓
千葉県	29.37 ↓	徳島県	53.18 ↑
東京都	16.12 ↓	香川県	54.43 ↓
神奈川県	23.72 ↓	愛媛県	46.70 ↓
新潟県	33.16 ↓	高知県	54.92 ↓
富山県	35.00 ↓	福岡県	63.69 ↓
石川県	37.49 ↓	佐賀県	57.67 ↑
福井県	26.28 ↓	長崎県	56.69 ↓
山梨県	36.69 ↓	熊本県	52.72 ↓
長野県	34.15 ↓	大分県	51.84 ↓
岐阜県	25.62 ↓	宮崎県	94.75 ↓
静岡県	35.61 ↓	鹿児島県	76.54 ↑
愛知県	43.48 ↓	沖縄県	14.76 ↑
三重県	33.84 ↓	全国	32.73 ↓

